

201



局長					
A					
B					
E					
J					

五 電〇〇三九九

特作〇

第十部

聯合艦隊各F

大本營海軍部・海上護衛總口・一〇方面艦隊F・支那方面艦隊口・各艦

機密第〇一一〇四五番電

聯合艦隊司令部第五三五號

機密聯合艦隊命令作第一〇六號

G F 第三段作戰兵力編著七F G Bノ次ニ左ノ通追原一節隊名・指揮官・兵力・任務ノ順ニス

第八基地航空機隊（八F G B）・第一〇航空艦隊司令長官・一〇A F・練成遊撃作戦。

通二一九呂一Bラ十八（B）〇FF口

海軍



局長	受信	始信
一課長		
無線		
無線		
無線		
無線		
無線		
無線		
無線		

七五九

就作
本機

● 大海參一部 ● 第五航空艦隊司令部 ● 第三航空艦隊司令部

機密電 〇二一〇〇一番電

發 第四艦隊參謀長

敵機動部隊、關東方面並ニ南西諸島方面來襲ノ狀況ニ鑑ミ之ガ全

貌判知ノ爲三月五日晴PU偵察實施ノ豫定。

ウレシ

通九三九 呂一Bラ一八一七六三〇KC(四通)

203

人
作

三二
受信一七三〇〇
開始一七三〇〇
譯了一八〇〇
買〇〇九四一
航作
本概〇

海上護衛線口

● 大海空一部長・一護衛艦隊F・九〇一空・徳島空基地(敵)

機密第〇二一二五二番電

● 南支沿岸ニ於テハ從來昆明地區發進ノB-124 一機乃至二機概ネ一

〇〇〇ヨリ一六〇〇迄哨戒船舶攻撃ヲ實施シアリシガ近來度度B-12

四 十機程度ノ編隊ヲ以テ不意ニ來襲船舶ノ被害増大シツツアリ右ハ

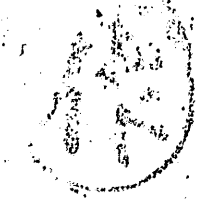
菲島方面ヨリ來襲スルモノト認メラルル處熱國護衛上戦闘機ナキハ甚

苦痛ニシテ陸側亦貧弱ニ付此ノ際至急南支方面ニ戦闘機ノ進出方取
計ハレ度
東通社 本會發信者名C.S.F.P.ヲモ解シ得
通一一一九 日一〇月五(一三五二〇)KC(高浦)

205

三 三 受信二〇四四 譯了二二〇〇 電自〇〇一六六一九 作 概〇
譯始二一〇二〇

至急親展



- 東 通 聯合艦隊口・第一八戰隊口・佐通
- 石 垣 島 警 備 隊 除・福 江
- 官 古 島 警 備 隊

機密第〇三一三一八番電 三分ノ二三三

一日戰鬪概報其ノ二

五所見

(1) 今次入港船團ニ對シ直援機銃二五耗ニ七(内臨時増備八)一三耗
 四ヲ配シ四〇挺發煙筒六箇ニテ遮蔽セルモ敵機ハ昨年十月以後數
 次ノ來襲機ニ比シ技術極メテ優秀ニシテ艦船ノミニ執拗ニ集中攻
 撃ヲ加ヘタリ
 現狀ニ鑑ミ重要船團入泊中モ戰鬪機直衝ノ要アリ

通一八二五、一八五〇、一八五五 天レレ(五二〇〇) 佐世保

(4)

來襲機ハF六Fノ外F四U（逆鷗型）TBF數機ヲ認ム
ツバメ（水深五〇）ハ被雷ニ依ル沈没ニシテ豊榮丸（水深二五）
モ其ノ疑アリ

(ロ) 震洋艇ヲ夜間急速陸揚ニ努メタルモ運搬車ハ全部下積ナリシ爲
長時間浮泛セシムルノ止ムナキニ至リタリ艇ト運搬車ハ同時陸
揚シ得ル如ク搭載スルヲ要ス。

206

三三 受信一四四五 譯了一五四六 電〇一四六一 作概〇

第七潜水部隊

● 大臣・總長・聯合艦隊P・第六艦隊P・第三航空艦隊P・横領

機密第〇三一四一五番電

第七潜水部隊信電令作第六二號

「ヒテノ」ハ「アノネ」N A A發聯合艦隊電令作五三八號ニ據

南島

通一六九七・ロ一Bケ五(B)七B8V

209

局長	
一課長	
A	
B	
C	
D	
E	
F	
G	
H	
I	
J	
K	
L	

第十課

三
五

了
一
七
三
五

〇〇
二
五
〇
九
三

人
〇
本

● 聯合...

● 山

〇三二三一三番七分八...

大...

本...

三...

...

...

...

電信課
第十課

行軍支隊各四十八組
 二 總兵力 陸軍第四〇一飛行隊
 三 三四三空軍甲(乙) 取 26/12 付屬

馬人車

(1) 陸軍第四〇一飛行隊
 二名ノ中一名ハ抽出奉返ナシ

(2) 搭乗員

付左ノ搭乗員ハ陸軍第四〇一飛行隊ヨリ各國家ノ飛行隊ニ轉入
 陸軍第三〇一飛行隊ハ上飛官宮本(吳志義三二七一)山中(吳志義一四〇九)船井(吳志義三二五〇)増田(吳志義三五〇)計五
 名 陸軍第四〇七飛行隊ハ飛行兵曹長大區(廣司)上等飛

第十信課

行兵官等(一) 備本隊第四〇號(伊者) 備本隊第五〇一三
 號(一等飛行兵曹) 在法隊第一九五六一號(石井) 備本隊第一
 一〇五四一號(二等飛行兵曹) 備本隊第七九八六號(計
 六名) 備本隊第七〇一號(飛行兵曹) 備本隊第七〇二號(成田)
 上等飛行兵曹(山田) 備本隊第一五六九號(作人) 備本隊第
 三三一四號(栗田) 備本隊第八〇〇七號(山田) 備本隊第二
 三一三三號(計五名)

(右) 各乘員(頭者) 各飛行隊(伊者) 百里屋(轉入) 備本隊第八
 六〇號(飛行隊) 備本隊第三五九七(村田) 備本隊第一二二二(二飛
 曹) 備本隊(佐藤) 備本隊第七二七七號(佐藤) 備本隊第八四六一
 號(立石) 備本隊第八四四〇號(佐本) 備本隊第八〇三
 五號(佐藤) 備本隊第六七九八號(計七名) 備本隊第四〇七號
 行隊(中野) 備本隊(五七二) 一七三〇(多野) 備本隊(五七二) 一八八六

海軍

第十信課

五、山本大尉(軍上二二一八)飛行兵曹長本四修、一等飛行兵曹中野(陸海軍第五四七七號)菊地(陸海軍六五一五)中山(陸海軍六五二七)飛返日本、吳志飛六〇二一、山口(陸海軍六七五四)計十名、飛返第七〇一飛行隊中野立石(陸海軍四九〇)少尉伊藤(軍上三七七〇)加賀美(軍上四一一)二、渡木(軍上三八三四)尾上(軍上四三〇一)水野(軍上四七九六)瀬川(軍上四〇一〇)二、飛返吳林(陸海軍八〇六一)計八名

同左記二名ヲ取附第三〇一飛行隊ヨリ取附第七〇一飛行隊ニ轉入上飛曹渡木(吳志飛二四六二)中野(吳志飛五一一九)

同左記三月一日以前在籍新編制ニ依リ訓練ヲ實施シツツマリ新編制前乘員名簿後送ス。

「陸海軍」トマルハ「今般」ノ作成限ト限ム

海軍

208



三
四

受信一九七四〇〇 譯了一九三〇 電〇二〇二九 作概〇

第一護衛艦隊

第一護衛艦隊高雄司令所

海上護衛總隊

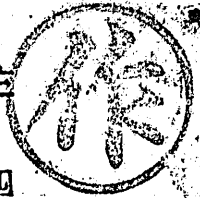
機密第〇四一五三七番電

一且機密第二六一一〇五番電

(二月)第三項(イ)ノ電探指導員ノ半數及舊高雄整備班ヲ最近便ニテ
門司ニ移セ。

遷二三四二 呂二百々五 (B) 佐遷

209



三四

受信開始 〇〇九八〇三〇三

譯了 〇九一五

電 〇一七九二

作概 〇

東

通・木更津空基地・横通・硫黄島空基地

父

通

機密第 〇四〇八〇三番電

宛 横鎮參謀長・三A參謀長・大海一部長

大海三部長・G.F.參謀長

三日午後硫黄島ニ新ニ第十二海兵師團ノ上陸ヲ報ズル敵電話
傍受ス。

東通註 G.F.ツラ濟

通二〇九五 オ十四(一〇二〇〇)父通

210



局長					
一課長					
受信A					
開始二					
一九五〇					
譯了二					
二一〇					

電〇〇二二一七六九 作 概〇

第一護衛艦隊

第一護衛艦隊高雄司令所

海上護衛總口

機密第〇四一六〇二番電 二分ノ一、二

一、機密第二六一一〇五番電第一項ノ件左ニ依リ處理 豫定ニ付

準備スベシ

一、残留人員（高雄派遣隊ト呼稱ス）

(1) 通信長及電信暗號准士官以上各一

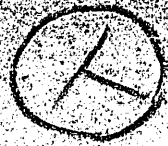
(2) 電信員三〇暗號員一〇 系及基地系ノ實施要領（詳細別電）「一

ツケ」「二ツケ」「五特系」及「基地系」ノ中繼處理「一ツケ」

ハ門司ニテ一部分擔「特ツケ」ヲ廢シ五特系ヲ門司ト結ブ

三、高雄派遣隊ハ高通防空壕完成次第速ニ之ト合併ス。

二三八七、二三八八 呂二日（日）佐世保



211



● 東 通
 ● 聯合艦隊口。第三航空艦隊口

機密第〇四一六一〇番電

發 三四三空司令

宛 大海參一部長 人事局長

通報 航本總務部長

當隊機密第〇三二三一二番電中高札(ヨヒ一一七三〇)トアルヲ高

牟禮(ヨヒ一一七三〇)ニ訂正ス。

〇二〇七二
 航本 令・人事

電十信課

通二三六八 呂一B) B) 吳

海軍

2/2

三

七六

受信開始 〇〇二二三〇〇

了 〇一三五

電 〇〇三〇〇六八九

作 概 〇

第一護衛艦隊 〇

第一護衛艦隊 高雄司令部

海上護衛總司令部

機密第 〇六一七〇一番電 二分ノ一、二

貴機密第 〇五一五三五番電返

台湾方面船舶防空隊ハ左ノ運處理セララル豫定

一五〇三及五三四ハ高警ニ配屬替ス

二五一一五及五一七八高雄司令部(高雄派遣隊)防空用トシテ不用高雄ヨ

リ基隆ニ移シ五二二ト共ニ高警ニ配屬替ノ上基隆港ノ船舶防空ニ充ツ

三五二二三機解除ス(人員ハ門司ニ移ス)

四五一三及五一六八五一五及五一七基隆着後門司ニ移ス

五五六〇八九〇一空本隊上海方面移轉ノ際同隊ト共ニ上海方面ニ移ス

六五二四ハ現狀通。 三四九四・三四九六 呂二Bケ五 (佐達 石垣 龍田)

2/3

人

三
受話開始
〇九三〇
〇三〇五
電話
〇三二七
一
人事

● 鎮守府艦隊所用共通符號

● 人事局



機密第〇七〇〇一〇番電

● 第一四等海軍司令部

一四等海軍司令部「カ」ニヨバル」在勤士官ハ從來一年半年内外ニテ交替スルヲ旨トスル處時及下士官兵ハ交替週週タル現狀ニアリ統率ノ關係上 上四一五五一ハ在勤年月上下ヲ通ジ「カ」ニヨバル」海軍軍人中最長トスルコトニ御高配相成度。

第拾信課

通三六五〇 第一四等海軍司令部 (一七五九〇七) 十通

海軍

214

三八 受信〇二五五 譯了〇六三〇 電〇三六四一 作概〇
開始〇六〇一

第一護衛艦隊司令部

第一護衛艦隊司令部

海上護衛總司令部

機密第〇七二三一五番電

機密第〇七〇九四六番電返

一、南滿作戰ハ繼續トラルル方針ナリ

二、日艦隊第一九二一一六番艦ハ配備變更ニ對スル内案ニテ第八項ニモ

アル通南方物資運送ハ現配備兵力ヲ以テ極力之ヲ維持強化トラルルニ

ニシテ轉進ハ未ダ懸念トラレズ(詳細上出參照ヨリ聴取サレ)

機密第〇九〇〇二番電(一) 大末(大)

215

三
七
受
信
始

〇七三五〇〇
〇七一〇〇
〇七五五
電〇三六四二
人事

二一通信隊

東通・横通・吳通・佐通・舞通

機密
第一
〇七二三一九番電

機密第一〇七二三一九番電

發 四五參謀長

宛 人事局長 各領人事部長

今次改編ニ當リ木原(ヨヨ三六五)湯川(シ七〇〇)等ノ第四南遣
艦隊司令部附ハ差當リ第二十五(根)附ニ發令方御取計ヲ得度。

2889
司令官
...

通四一一一 呂一Bヶ四) (二一通

海軍

第十課

21.8.9
庶務

2/6

三 八 受信〇四三九

電自〇〇四二七〇
電至〇〇四二七三〇

航護作
本機

緊急

「西貢」威部隊總參謀長

護衛總司令官

威參三電第一〇一號

通電先 次長・護衛總司令官

參考 次官・第二十六師團・「F」司・船司・三船輪司

燃料運送ノ重要性ニ鑑ミ陸軍護衛飛行隊ヲ督勵シ極力護衛ヲ強化シツツ

アルモ最近ノ實績ニ徴スルニ一月二十日以降ノ運送油船中七隻ヲ佛

印東岸海域ニ於テ損耗セシハ眞ニ遺憾トスル所ナリ本件ハ既ニ十分承知

セラレアル所ト存スルモ漕船ノ場所ガ殆ド限定セラレ且夜間ノ雷撃ニ起

因シアルニ鑑ミ此ノ際他方面ノ磁探機ヲ當方面ニ轉用計畫的ニ對潛掃蕩ヲ

實施スルヲ必要ト思料スルニ付是非共實現方配慮相成度

通四二五・四一二六・四一四九・四一四八 發信局(西貢) (鈴木)

管方面海軍飛行隊ノ護衛能力並ニ船團運行法等檢討ノ爲護衛隊職務係
等ヲ派遣シ適時處置セラレシムトテ切望ス

一附 本署既ニ三月八日海軍省軍令部ニ配布済ナリ念爲
本署海軍省電信課ヨリ轉付候旨ヲ示シテモテ

□

217

海軍
高橋(山中)
四三二〇三
四一八二八
一七五九〇
十通
軍

作戦要旨

局長	一課長	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	作區
																		◎

三〇二〇九

聯合艦隊司令部・西軍方面部隊各口

機務部〇八〇一〇四〇〇番電 二分ノ一・二

第十三〇司令長官

通報 成可

三月十日附改編ニ基キ第三基地航空部隊兵力部署並機務作戦部隊兵力部署ハ書類別送セラレバクモ要旨左ノ通

一 第三基地航空部隊兵力部署

(一) 直率三三一空三八一空一三空三一空

二二三・二八各航空隊
二二二・二二・二一三・三三・三三三・三八一・九三六各航空隊
馬來空・東印空・海北空

20. 3. 9

第十信課

電信課
第十課

(一) 〇・〇・マライ空(一)二空(一)指揮官二八航戰司令官)
 (二) 〇・〇・東印空(北空)指揮官二三航戰司令官)
 (三) 附屬一三航艦隊遺留隊機務隊一五・三〇・三二魚雷調整班
 (四) 附屬作戰部隊兵力部署訂正要旨
 (五) 第一作戰部隊(三三一空)第二作戰部隊(一三三空)第三作戰部隊
 (六) 附屬一〇一飛行隊指揮官三八一飛行長(セレター)第四作戰部隊
 (七) 以上直率・變更ス
 (八) 〇・〇・第一基地部隊(マライ空)第五作戰部隊(一二空)トシ
 第二艦隊部隊ヲ削除
 (九) 第五作戰部隊配備ノ順ヲ「佛印」ニ改ム主要任務ニ基地作業ヲ追
 加
 (十) 三八一部隊兵力ヲ三八一空(缺日特一〇一飛行隊)ニ改ム
 三附屬ノ編中一七魚雷調整班ヲ削除ス。

20. 3. 9

海軍
日

21A



三九

受信一三五六
開始一二三〇

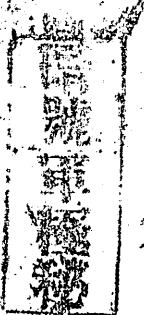
譯了一三〇〇 電〇四二三八 作概〇

至急親展

第一護衛艦隊

第一護衛艦隊高雄司令所

機密第〇九〇九二二番電



發一四四參謀

機密第〇四一六〇二番電中「暗號費十名」ノ次ニ「系及基地系」
トアル「ニ通信」ノ誤作成ニ付訂正ス。

通四七五回

呂二Bヶ五（B）吳

219

三九
急展

受信一六五二
譚始一六四〇
譚了一六四五
電〇四三一二
作概〇

第一護衛艦隊口

第一護衛艦隊高雄司令部

海上護衛總口

機密第〇九一四二四番電

一四〇機密第二六一一〇五番電(二月)ノ發動期日ヲ三月十二日トス。

通四八九〇 呂一Bケ五(B) 佐世保

220

三九

受信一八二七
譯始二〇五〇

譯了二一四三

電電〇四四四
一八七

符

航作
〇

◎ 聯合艦隊口・第五航空隊隊口
◎ 大海軍一部・第三航空隊隊口・第六艦隊口

機密第〇九一六一三 務電二分ノ二三

U N B 戦国報特四號 (九日)

彩雲一機 (三木大尉機) 〇五一〇發 〇九一五一〇九四五 P O 偵察一三四
五歸着目視狀況左ノ通

(計器高度九六〇〇米 天候晴 視界六〇軒)

一 (A) A 二一 戦艦五 飛行艇四〇 二一 四部ヨリ B 二二 東部正規空母七

何レモエセツクス型) 戦艦一隻 (ワシントン型) B 二二 南部〇二三

北部補助航空母艦 (カサブランカ型) 空母ハ何レモ一團トナリテ旋

泊シアリ

通四九三六・四九五二 〇一 B ラ十八 (八九九五〇) 四放

河原・鈴木 (鈴三)

(一) 〇二三四三四五二五二六ニハ輸送船大中小多数驅逐艦若干アリシ
モ敵戦艦隊ノ追跡ヲ受ケ的確ナク數判明セズ

(二) フララツブ島ノ六〇度約四〇哩ニ歸投中ノ空母四(内一ハレキシ
トン型他ハ艦型不明)戦艦三隻驅逐艦數隻輪形陣ニテ針路一六〇度
速力一四節

二、寫眞判讀ノ結果ハ後報ス

三、機材ノ都合ニ依リ明日ノ天候偵察ヲ取止メ明後十一日ノ夜偵察ノミ實
施ノ豫定ナリ。

221



作

作戰特別緊急

三 一〇 受信〇〇〇二〇七
譯始〇〇〇二〇七

譯了〇〇〇二二三 電〇四四三七 作機〇

〇 一 一 根 一

大本營海軍部 一護衛艦隊 海南營 九〇一全

機密第〇九二三一五番電

一二二二五カムラン戰團開始

通五〇九六

(未) 三 五 (C) 十 通

局長			
一課長			
A		L	
B		K	
E		I	
J		C	
G			
F			

222

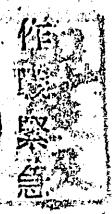
人

三

一〇 受信〇〇一〇〇〇
譯始〇〇三〇〇

譯了〇〇四五

〇〇四四九 作 概〇



〇 三二通五分遺隊・第一航空隊
聯合隊 隊口・一〇方面隊

機密第〇九二三三三二

發 南方軍總參謀長

宛 一 A F 參謀長 南西方面隊參謀長

本九日二二一八佛印ニ對シ武力（明作戰）ヲ發動セラレリ本作隊ニ關

聯シ敵機動部隊佛印方面策動ヲ企圖スルノ算大ナルヲ以テ茲當分ノ間

呂宋海峽及「スリガオ」海峽方面ニ於ケル敵機動部隊ノ動向偵察並ニ

速報ニ關シ特ニ御配慮ヲ得度。

通五一一九 於一四（六二三五K）一〇通

220

人



作戰要急

三十一

始信

一一〇五
一一〇五

了〇一〇五

〇〇五〇四六

航機

本〇

聯合艦隊司令部

鹿屋航空基地

大本營海軍部。第四艦隊司令部。伊勢第五八潜水艦。

機密第一一〇九五一番電

第五航空隊隊長

丹作鐵工式飛行艇三架。銀河二四機〇八二八迄。急進ナリ。

五五六六二 日一〇六五 (三九三七五) K111K10E放

日一

225

人

三 一 一 受領 〇〇六〇〇〇 〇丁〇八一〇 電〇四九三一
 開始 〇〇六〇〇〇 〇丁〇八一〇 電〇四九三一
 官房 令 副
 事務 人 事

第十信

● 二 十 四 通
 ● 二 十 六 根
 ● 重 通

第一〇二二一八番

宛 四ノ下

通報 軍務局長 法務局長

少佐事件本月七日判決殺人並亡 藤原武樹死刑 殺人佐々木一男

慶長八年一月 藤原武樹ノ死

本年事件本月十日判決上首殺殺 増田清兼 一五年 上首殺

司直 慶長一五年 川島清兼 一〇年ノ首渡アリ。

通五五三八 四二〇一六一二二 五七二二十四通 海 軍

三二二 受信 始 七〇〇

譯了 二〇〇〇

電自〇五二三一 至〇五二三六

航作 本機 〇

聯合艦隊司令部 第三航空艦隊司令部
東京通信隊

松山基地

機密第一二二二二番電

六分一二三四五六

三三三空司令

聯合艦隊參謀長 第三航空艦隊參謀長

通報 大海參一部長 大海參二部長 航空本部總務部長

當於二於テハ三月七日以降天候恢復後材關係ニ相違ノ故障原因出シツツテ

ルモノ之ヲ突破機隊士訓練ヲ強行戦機第三〇一・四〇七・七〇一飛行隊共

機ヲ時五機ヲ以テスル空戦ニ移行中ニシテ今月下旬ヨリ逐次綜合訓練ニ

入ルヲ豫期シアル處右ニ依リ訓練機ノ增加ト偵察第四戦機第四〇一飛行

通五七六八・五七七〇・五七七八・五七八四

呂一〇

〇一〇

隊ノ訓練開始トニヨリ燃料消費量ハ一日五萬立ニ達セントシ現配當量七
七萬立ニテハ訓練ヲ中止ノ已ムナキニ到ル狀況ナリ

此ノ訓練ヲ後ニク月乃至ニク月半續行スルトキハ概圖第三〇一飛行隊

第四〇七飛行隊概圖第七〇一飛行隊偵察第四飛行隊ハ自他共ニ計ス

銳トナリ少クモ二〇〇機程度ノ敵機隊ハ一會以ニテ擊滅戰局一轉ノ

有力契機タラシメ得ル確信ヲ有ス

ニク月半後ニ天下ノ精銳三箇飛行隊偵察一個飛行隊ヲ得ル目途ヲ眼

前ニ見乍ラ數十萬立ノ燃料難折角ノ訓練ノ成ヲ折ラサルベカラザ

ルハ誠ニ殘念ノ極ニシテ惜ミテモ餘アル所ナリ燃料逼迫ノ狀況ハ充分

承知シアルモ事情前述通ナルヲ以テ三月四月五月三ヶ月間ハ八九航空揮

發油一二〇萬立八七航空揮發油二〇萬立配當ニ關シ特別ノ御座慮ヲ得度

尙燃料節減ノ爲地上運轉ノ極減松根油ノ採取兵棋圖上演習等地上教育ノ

徹底等ハ從來共極力實施シツツアル處ナルモ尙一層ノ努力ヲ嚔注スベク
邁進シツツアリ



三
一一
受信二〇四三 譯了二三四五 電〇五一八一 作機〇
譯始二三〇四五

急
無線機所用天通符號

六 艦隊下

大本營海軍部・伊五八・五洲空艦隊下

通電第一一二一九二六番電

聯合艦隊司令作第五三號

第二次丹作戦成功ス

元達部隊指揮官ハ伊號第五八潜水艦ヲシテ内艦ニ師団ノ上次期作戦準備ヲ實施スベシ。

通五九〇四 昌一五々五(五)ノ下

228

人

三

一

一

信二二二二
始二二二二
二二二二

二二二二三
二二二二三

五二八八一

作部

作部
緊急



◎

五航空艦隊

◎

四、六各艦隊

機密第一二二二四三番

發
長官

梓崎別攻
ヲ俛
ラ俛
ビ感謝
ニ致
ヘズ
妻
運
進
攻
ノ
成
功
ヲ
祝
ス

適五九四二
西一〇五五

229

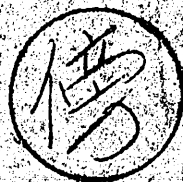
作戰緊急

三

一

受信開始

局長	課長	局長	課長	局長	課長	局長	課長
局長	課長	局長	課長	局長	課長	局長	課長



第一

〇

二

二

空



第五

隊

隊

隊

隊

隊

隊

隊

機密第一一二三〇七番電

聯合陸軍電令作第五五〇號

第百一航空隊司令官ハ適宜麾下輸送機ヲシテ南大東島ニ不時着セル
丹作戰部隊搭乗員(銀河四機)ノ收容ニ關シ第五航空隊隊長官ノ指揮
ヲ受ケシムベシ。

通五九八四 呂一〇(一)B(一)C(一)D

航解

本〇

290



作以緊急

三一二 受始信 一七〇〇三 了 一七三〇

〇〇五 〇〇五 〇〇五 〇〇四 〇〇九 〇〇三 〇〇四

航作 概 本〇

總無線艦所用兵通符號

觀察

第一航空艦隊 第五航空艦隊

大海軍一部 第三航空艦隊

機密第一二二四四〇番電 三分ノ一三三

UN 戰間觀報時五號(十二日)

三坐一機(三木大尉機)〇四四〇發〇八三〇一〇八四五P日(結果偵察)

一二一〇着(目視狀況左ノ通(計器高度九三〇〇米視界五〇哩快晴))

一在泊艦船

正規空母五隻 特空母約十一隻(内入港中ノモノ一) 戦艦約七

六六二 六二一 六一〇 六一三 六二一 六一〇 六一三 六二一 六一〇 六一三 六二一 六一〇 六一三

巡洋艦約二〇（内入港中ノモノ七） 輸送船（大中小）約五〇隻

九日爾前偵察ト殆ト變化ナシ 海内一般ニ平靜ニシテ小舟艇ノ獲

復モ頻繁ナラズ 出港ノ氣配ヲ認メズ

油ノ浮流三個所アリシモ沈没艦ノ跡トモ思ハレズ

三、フアラツプ島飛行場飛行機ヲ認メズ 敵艦ノ遺棄ナシ 對空砲火若干

アリシモ熾烈ナラズ

四、垂直寫眞判讀ノ結果後報。

三一五 野田一三五五 田一六一五 電自〇〇六八三九 補入〇

局長

局長

局長



情報官

電話第一五〇七一五番 七分、六二三

第四師隊參謀長

知事

軍務局長 大塚一師長 人事局長

司令十二師團參謀長



士官補佐士官左ノ外師四師隊後衛隊〇七一八〇二番 通大田

〇二七六六七〇 吉本 〇三三三七二 〇〇 〇三三八三

〇三三三九九 〇〇 〇三四四二

二師團 (補佐) 尾崎 (本九九) 加藤 (本四〇八) 白根 (本四五)

海軍 軍

第十信

(加藤) (本四七二) 池田 (五七三六) 庄子 (五二五三六) 佐々
 本木 (本一二三三) 池澤 (五七六一) 春日 (五九八九) 森 (本一
 二七一) 榎本 (本二四六七) 齋川 (五二八七四) 石川 (一九二
 三) 門倉 (五二〇三三) 中島 (五二〇三〇) 山岡 (五二一三一
 〇) 近藤玄 (昭和十八年五月一日) 石川 (五二一九九) 中田 (五
 二二一八) 石井 (五二二四八) 吉澤 (五二二五九) 大和久 (五
 二二七〇) 一七) 北澤 (五二二七〇) 七六) 佐藤 (五二二七
 〇) 八四) 瀧澤 純一郎 (昭和十八年五月一日) (吳) 高橋 (本
 五五六二五) 山根 (本六一七七) 西村 (本七〇八八) 上原 (本
 七四〇七) 上長 (五五六〇四) (佐銀) 鏗川 (五七五九二) 西
 澤 (五七五八六) 池田市男 (昭和十八年八月一日) 東 (五九九
 六七)。

(電偵課註 本電七分、四以下未着)

海軍